

2023年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】			所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂クラシック美術館			
所在地	須坂市大字須坂371-6			
施設設置目的	市民文化の向上に資するため			
施設概要・設備	木造地上2階 延床面積6937㎡			
建設年月	1995年7月	指定管理 開始年月	2009年4月	

【指定管理概要】

指定管理者名	(一財)須坂市文化振興事業団			
指定期間	2019.4.1～2024.3.31			
業務内容	(1) 閲覧及び工房の利用の許可並びに許可の取消し及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 観覧料等の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のため実施する事業に関する業務 (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務			
職員体制	常勤： 3名 非常勤： 0名 合計： 3名			
(専門職、役職等内訳)	学芸員 1名			

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2021年度	2022年度	2023年度		
入場者数	人	6,741	4,913	4,117	3,767	91.5%	55.9%
		※2019年度実績					
特記事項	単館券の入場者が少なかった。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料			収入	使用料・手数料		
	使用料・手数料						
	その他				その他		
	収入計				収入計		
支出	人件費			支出	指定管理料		
	需用費				修繕費		
	役務費				備品購入費		
	その他				その他		
	支出計				支出計		
管理事業損益（a）				管理事業損益			

損益 (a) + (b) 管理事業損益 + 自主事業損益	
---------------------------------	--

特記事項	収支状況は、文化会館に含む。
------	----------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	
--------	--

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
合計			自主事業損益(b)

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	アンケート用紙記入方式(来館者)
	(2)調査等の結果
	65人
②利用者からの声	(1)良好とする評価
	・大正・昭和初期の懐かしさが思い出された。(60代女性) ・アートと古い建築がマッチしていて幻想的でした。(20代女性) ・龍子展が良かった。建物と着物もよかった。(60代女性) ・館内がとてもきれいで見やすかった。(40代女性) ・着物の虫干しが、見れて良かった。(40代女性) ・昔の貴重な着物や建物が拝見できて良かった。(40代女性)
	(2)苦情・改善の要望
	・照明を考えてほしい。よくわからない。(80代女性)
③対応措置	・照明について・・・作品の損傷を生じさせないため照度を落としている。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	○	2
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	○	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点 15 点

総合評価 A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

- A (優れている) 合計15点以上
- B (適正) 合計14点
- B' (若干の改善が必要) 合計11点～13点
- C (さらなる努力が必要) 合計10点以下

評価基準

- ◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。
- … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。
- △ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。
- × … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 今年度の取り組みに対する評価

・「岡信孝の画とコレクション」「着物や和をテーマとした展示と体験」を特色として、暮らしの美や文化を伝えることに努めた。
・岡信孝記念展示室では、花をモチーフとした収蔵品展を開催。植樹した牡丹の時期に併せることで、庭の牡丹の認知度が上がった。
・岡画伯の師匠・祖父である川端龍子の作品を岡画伯の作品と併せ展示し、岡画伯の作品の再発見をすることができた。
・ろうけつ染めという伝統的な技法を使った大竹夏紀展を開催し、多くの人に関心をもってもらうことができた。
・継続事業である「きもの試着体験」、着物のはぎれや模様型紙を使ったワークショップ等を更に充実させ、「虫干し会」、「きもの日和」とともに、着物に親しんでもらう機会とすることができた。

(2) 課題

・建物の老朽化の伴う修繕箇所の増加への対応と維持管理
・入館者増に向けた対応・夏季における主屋2階及び土蔵展示室の34度以上の暑さ

(3) 次年度以降の取り組み

・当館の特色を生かした企画展に努める。
・人形きもの工房「はる」の市松人形展の開催。
・当館30周年に向けた復刻銘仙着物を作成する。
・入館者及び物販収入の増加を目指す。
・暑さ対策として、簡易クーラーを設置する。

(4) その他

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理状況は概ね良好

毎朝、職員の出勤時には、館内清掃、整理整頓を実施しており、古い建物ながら、常時清潔感のある環境が保たれている。

川端龍子と岡信孝の祖父と孫の共同展示や、大竹夏紀の比較的若者向けの展示など幅広い年代層にむけた企画展を行っている。